



平成 15 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルガレージ
代 表 者 名 代表取締役 CEO 林 郁
(登 録 銘 柄 ・ コ ー ド 4 8 1 9)
(URL <http://www.garage.co.jp/>)
問 い 合 せ 先 取 締 役 CFO 経 営 管 理 本 部 長
徳 山 涼 平
T E L 0 3 - 5 4 6 5 - 7 7 4 7

平成 15 年 6 月期 通期連結業績予想および通期個別業績予想の修正について

平成 15 年 1 月 20 日付の「株式取得による株式会社イーコンテキストの子会社化およびこれに伴う業績予想（連結）の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成 15 年 6 月期（平成 14 年 7 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）通期の連結業績予想ならびに平成 14 年 12 月 20 日付の「関連会社の解散および清算ならびにこれに伴う業績予想の修正について」で公表いたしました平成 15 年 6 月期個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 15 年 6 月期 通期連結業績予想の修正

(1) 当期（平成 14 年 7 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）の連結業績予想数値の修正

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,500	40	120
今 回 修 正 予 想 (B)	3,450	220	200
増 減 額 (B - A)	1,050	180	80
増 減 率 (%)	23.3%	%	%

(2) 修正の理由

当期の連結業績予想修正は、後記いたしております当社個別業績予想の修正に伴うものが主な要因であります。連結子会社である(株)ディーエス・インタラクティブ、(株)イーコンテキストおよび(株)イーコマース総合研究所の売上高は合計で 550 百万円減少する見込みであります。また、当期は当社グループとしての案件に集中したため、子会社のグループ内売上高比率が増加し、結果として連結売上高は前回予想より 1,050 百万円減少する見込みであります。

連結経常利益につきましては上記の売上高の減少によるものが主な要因ですが、結果として前回予想より 180 百万円減少する見込みであります。また当期純利益も同様に 80 百万円減少する見込みであります。

(3) ご参考 前期の実績 (平成 13 年 7 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期 (7/1～6/30)	2,783	351	103

2. 平成 15 年 6 月期 通期個別業績予想の修正

(1) 当期 (平成 14 年 7 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日) の業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,000	110	35
今回修正予想(B)	2,550	30	0
増減額(B - A)	450	140	35
増減率(%)	15.0%	%	%

(2) 修正の理由

売上高の修正については以下の要因によるものであります。当社のグループ体制の構築の一環として、プラットフォーム関連業務を戦略的に見直し、「CyberAuction」と「WebNation」等の当社でのサービスを終了しました。クレジットカード会社各社との提携によるインターネットオークションのエスクローサービスである「CyberAuction」は、インターネットオークションのサイト運営側で同様のサービスの提供をスタートしたこともあり当期中に事業を終了し、また CD、LD、DVD 等の販売の「WebNation」事業は提携先企業である(株)イメージクエストインタラクティブに当期中に譲渡いたしました。結果として当初見込んでいたプラットフォーム関連事業の売上は 250 百万円の減少をしております。ソリューション関連業務においては、ブロードバンド関連システム構築の受託案件等の IT ソリューションが 200 百万円減少しております。結果として、売上高は前回予想より 450 百万円の減少となる見込みであります。

利益の修正につきましては、売上高の減少が主な要因ですが、マーケティングソリューションにおいてワンストップソリューションを確立するために、戦略的に広告代理店業務の拡大に取り組んだため、売上高利益率が若干低下したことも要因となっております。当社ビジ

ネスの機軸であるネットビジネスの孵化（インキュベーション）においては、投資有価証券売却益 220 百万円を計上する見込みであります。一方、保有している投資有価証券の評価減等による損失（61 百万円）を計上し、30 百万円の経常損失（前回予想は 110 百万円の経常利益）を計上する見込みであります。また、本日付で開示しておりますとおり子会社(株)ディーエス・インタラクティブ株式の譲渡により 170 百万円の特別利益を計上する見込みであります。前述いたしましたプラットフォーム関連事業の戦略的見直しの結果、「CyberAuction」システム等のソフトウェア 144 百万円を償却し、結果として利益は 0 百万円（前回予想は 35 百万円の当期純利益）の計上となる見込みであります。

(3) ご参考 前期の実績（平成 13 年 7 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
通期（7/1～6/30）	2,553	464	214

3. その他

当社は前期よりグループ経営を標榜しており、当社グループ強化のための資本の関わる提携等を積極的に推進し、グループ体制も予想以上に早いスピードで確立してきております。今後もグループ体制の確立に向け強固な基盤づくりに邁進してまいります。そのための提携等は今回と同様に業績予想の変動が伴う可能性もあります。提携の背景等につきましては、個別に公表いたします開示内容をご参照の上ご理解いただきますようお願いいたします。

以 上